

[連載] 第20回

清々しき人々

月尾嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)

私財すべてを投入して故郷を再建した 濱口 梧陵



濱口梧陵 (1820-85)

「リング・オブ・オブ・ファイア」という言葉があります。プロレスリングの宣伝文句のようにですが学術用語で、環太平洋火山帯と翻訳されます。太平洋を中心とユーラシア大陸の東側、北米大陸と南米大陸の西側を対象とした地図に火山の位置を表示すると、太平洋を取囲むように火山が存在する状態を表現した言葉です。これは火山地帯であるとともに世界有数の地震地帯であり、これまで発生した巨大地震が集中している地域です(図1)。

二〇世紀以後、地球ではマグニチュード(M)九・〇以上の大地震が六回発生しましたが、すべてリング・オブ・ファイアで発生しています。もっとも最近の巨大地震が二〇一一年三月一日に三陸地方に襲来した東北地方太平洋沖地震(M九・〇)は地震大国で、一九八〇年から二〇〇〇年までに世界で発生したM五・五以上の地震の発生回数では日本は世界四位ですが、国土面積あたりでは断然世界一位です。この地震の影響により発生するのが津波です。世界の自然災害で死者が多数の災害は洪水で、一九一一年に中国の長江の氾濫で約四〇〇万人、一八七七年の黄河の氾濫では約九〇万人が死亡していますが、二〇〇四年に発生したスマトラ島沖地震では津波によって約二三十万人が死亡し、東日本大震災でも死者と行方不明で二十万人以上になっています。今回は江戸末期に発生したM八・四の安政地震のときに活躍した偉人を紹介します。

巨大な災害をもたらす津波

安政一大地震の発生 江戸末期の嘉永六(一八五三)年六月(旧暦)にアメリカのマシュー・ペリーを司令長官とする四隻の艦隊が浦賀に来航。さらに翌年の嘉永七(一八五四)年二月には、再度、七隻で来航して開国を要求してきた。その社会情勢を象徴するもののように、年末の一月四日に安政東海地震、翌日に安政南海地震と名付けられるM八・四の巨大地震が日本の太平洋岸を襲撃し、各地で甚大な被害が発生しました。

識者から国際情勢を学習

梧陵は一八二〇年に広村の濱口家の分家の長男として誕生しました。濱口家は一六四五年に利根川河口の銚子にヤマサ醤油を創業し、江戸でも有数の醤油醸造の商売をするほど繁盛しました。この本家の第六代目に跡継ぎが誕生しなかったため、分家の梧陵が一歳になった一八三一年に嫡子として本家に移籍し、家業を見習うために銚子に移動し修行しました。当時は跡継ぎといえども、丁稚などと一緒の修行をするという慣習でした。

災害への対応に活躍した梧陵

一月四日の午前一〇時頃に発生した最初の地震のとき、巨大地震の直後には津波が襲来するとの口承を伝聞していた梧陵は村民に家財道具を高台に運搬させ、老人、女性、子供は八幡神社(図3)に避難させ、三班の壮年男子を盗難や火災の予防のために見回らせました。そして神社の境内では炊事をして避難している村人に食事を提供しました。しかし津波は襲来しなかったため、村人も自宅に帰還し、一件落着きようでした。



図1 リング・オブ・ファイアと大地震



図2 耐久社

Jump-Start! 英語は39日で上手くなる... 高山英士著 1000円 (税抜) 音声6種類 無料ダウンロード... 英語は39日で上手くなる!... 英語を話す子供が、英語を話せるようになる!...

海の世界地図 Don Hinrichsen 著... 海に關わるあらゆる問題を世界地図上で色分けし、わかりやすくグラフで解説... 海の生態系が人間に与える恩恵と、人間活動によって生態系に及ぼす影響など、海とわたしたちの生活との共生について学べる一冊... 85変形・128頁 本体2,900円+税... 丸善出版

人類は何を失いつつあるのか... 人類の歩んできた道、その現在と、私たちの未来の姿を、現代社会を視野に語り合う、ゴリラ学者とクワレイトジャーニー探検家の壮大な対話... 山極輝一、関野吉晴 著 定価(本体2,700円+税)...

望星 6月号 5月15日発売 定価600円 (本体558円)... 植物名には漢字併記を! 「アカシデ」などの樹木の名前は、カタカナだとイメージが湧きません。しかし、「赤四手」となると、なんとなくイメージが湧く。呼称を知るためにはひらがな・カタカナが便利ですが、漢字も併記したらどうでしょうか... 阿江哲次、青木宏一郎、長野伸江、川井正雄、佐藤賢司、飯島敏宏...



図3 八幡神社

被害をもたらした、梧陵自身も巻込まれましたが、偶然にも高台に漂着してなんとか無事で、八幡神社に到着して陣頭指揮をします。

梧陵は村人とともに村内を巡視しようとしたが、流失家屋が邪魔になって進行できないため高台に帰還しました。しかし次第に暗闇となり、また海上を漂流している村人を高台に誘導するため、道端に積み上げてあった桶むらに次々と点火して逃避の目印にします(図4)。

そのおかげで九名の村人が高台に到達できましたが、結果として、死者三名、流失家屋一二五軒をはじめとする家屋の被害は三三九軒という巨大な被害になりました。

この梧陵の活躍はマスメディアが普及していない時代には広汎に話題になることはありませんでしたが、一八九〇年に来日して英語教師となったラファカディオ・ハーン(小泉八雲)が「グリーンニング・イン・ブツフイルド(仏陀の畑の落穂拾い)」の冒頭に、やや脚色した内容ですが「ア・リビング・ゴット(生き神様)」として紹介したため、国内だけではなく海外でも有名になりました。

それから四〇年後、この内容が全国に浸透することになりました。広村の隣村湯浅の出身で耐久中学を卒業した中井常蔵が



図4 浜口梧陵画像

それから四〇年後、この内容が全国に浸透することになりました。広村の隣村湯浅の出身で耐久中学を卒業した中井常蔵が

梧陵は津波の最中だけではなく、地元の復興にも大変な尽力をしています。震災の直後に隣村から貯蔵米や年貢米を借入れて村人に配給し、私財で漁船や農具を購入して村民に配布してきました。しかし、家屋も家財も喪失した村民は、当座の支援だけではさらなる津波の襲来を心配して離村さえ検討しはじめます。それらの人々に金銭を支援するだけでは自立する精神を喪失させるのではないかと梧陵は憂慮し、対策を検討します。

梧陵が実施した対策は公共工事でした。今後の津波への対策として海岸に堤防を建設し、その工事にために村人を雇用し、給料を支払うことにより村人が自立できるようにするという政策です。これは東日本大震災の復興でも防潮堤防や高台住居の建設などで実施されています

梧陵は被災後三ヶ月から三年かけて建造され、村人五〇〇名ほどを毎日雇用し、日当は当日支払いました。一八五八年に尊皇攘夷運動を弾圧する安政の大獄事件が発生するなど社会が緊張してきたため工事は中止され、堤防は短縮されましたが、延数で五万六七三六人を雇用し、全長六五〇メートル、根幅二〇メートル、天幅三メートル、高さ五メートルの堤防が実現しました(図6)。

梧陵が復興に投入した私財は現在価格で二〇億円にもなります。

地元の復興に私財を投入



図5 小学国語読本

このように梧陵は郷里のため多大の貢献をしましたが、さらに広汎な活躍をしました。江戸末期には紀州の藩政改革を実行し、その力量が明治政府に評価され、明治四年に策定された郵便制度を所管する初代駅頭(郵便大臣)に任命されます。実業で成功してきた梧陵は将米民間に移管することを主張しますが、官営を主張した前島密と衝突し、一週間後には辞任し、和歌山県大参事官(知事)を拝命、明治

三年には初代和歌山県議会議長に就任します。一八八四年、すべての公職を辞任し、以前から願望していた海外視察に出發します。五月三〇日に汽船「シチー・オブ・トリーキー」で横浜から出港してアメリカに到着し、四ヶ月間カリフォルニアに滞在、一〇月二〇日から鉄道でソルトレイクシティ、オマハ、シカゴ、ナイアガラ瀑布(図7)などを経由して三十一日にニューヨークに到着しました。しかし、そこで病氣となり、翌年の一八八五年四月二一日にニューヨークの病院で客死しました。

フロックコートを着用した正装のまま納棺された遺體は五月二八日に汽船で横浜に到着し、多数の人々の吊問を受け、再度汽船で神戸を経由して広村に到着し、四〇〇〇余名が会葬する盛大な葬儀が六月一四日に執行されました。今年も明治維新一五〇年ですが、日本に何度もない巨大な体制の転換が成功したのは、梧陵のような日本の未来を冷静に判断し、敢然と挑戦した人々の努力の集積によるということを実感します。

参考:「福むら焼ゆー海嘯と闘った男」浜口梧陵の軌跡(和歌山県広川町)一九九八「善勇善公の章でたどる濱口梧陵の生涯」(広川町教育委員会)二〇〇七「取材協力」福むらの火の館(崎山一穂館長)



図6 広村堤防

このように梧陵は郷里のため多大の貢献をしましたが、さらに広汎な活躍をしました。江戸末期には紀州の藩政改革を実行し、その力量が明治政府に評価され、明治四年に策定された郵便制度を所管する初代駅頭(郵便大臣)に任命されます。実業で成功してきた梧陵は将米民間に移管することを主張しますが、官営を主張した前島密と衝突し、一週間後には辞任し、和歌山県大参事官(知事)を拝命、明治

三年には初代和歌山県議会議長に就任します。一八八四年、すべての公職を辞任し、以前から願望していた海外視察に出發します。五月三〇日に汽船「シチー・オブ・トリーキー」で横浜から出港してアメリカに到着し、四ヶ月間カリフォルニアに滞在、一〇月二〇日から鉄道でソルトレイクシティ、オマハ、シカゴ、ナイアガラ瀑布(図7)などを経由して三十一日にニューヨークに到着しました。しかし、そこで病氣となり、翌年の一八八五年四月二一日にニューヨークの病院で客死しました。

フロックコートを着用した正装のまま納棺された遺體は五月二八日に汽船で横浜に到着し、多数の人々の吊問を受け、再度汽船で神戸を経由して広村に到着し、四〇〇〇余名が会葬する盛大な葬儀が六月一四日に執行されました。今年も明治維新一五〇年ですが、日本に何度もない巨大な体制の転換が成功したのは、梧陵のような日本の未来を冷静に判断し、敢然と挑戦した人々の努力の集積によるということを実感します。

参考:「福むら焼ゆー海嘯と闘った男」浜口梧陵の軌跡(和歌山県広川町)一九九八「善勇善公の章でたどる濱口梧陵の生涯」(広川町教育委員会)二〇〇七「取材協力」福むらの火の館(崎山一穂館長)



図7 ナイアガラ瀑布での肖像

このように梧陵は郷里のため多大の貢献をしましたが、さらに広汎な活躍をしました。江戸末期には紀州の藩政改革を実行し、その力量が明治政府に評価され、明治四年に策定された郵便制度を所管する初代駅頭(郵便大臣)に任命されます。実業で成功してきた梧陵は将米民間に移管することを主張しますが、官営を主張した前島密と衝突し、一週間後には辞任し、和歌山県大参事官(知事)を拝命、明治

三年には初代和歌山県議会議長に就任します。一八八四年、すべての公職を辞任し、以前から願望していた海外視察に出發します。五月三〇日に汽船「シチー・オブ・トリーキー」で横浜から出港してアメリカに到着し、四ヶ月間カリフォルニアに滞在、一〇月二〇日から鉄道でソルトレイクシティ、オマハ、シカゴ、ナイアガラ瀑布(図7)などを経由して三十一日にニューヨークに到着しました。しかし、そこで病氣となり、翌年の一八八五年四月二一日にニューヨークの病院で客死しました。

フロックコートを着用した正装のまま納棺された遺體は五月二八日に汽船で横浜に到着し、多数の人々の吊問を受け、再度汽船で神戸を経由して広村に到着し、四〇〇〇余名が会葬する盛大な葬儀が六月一四日に執行されました。今年も明治維新一五〇年ですが、日本に何度もない巨大な体制の転換が成功したのは、梧陵のような日本の未来を冷静に判断し、敢然と挑戦した人々の努力の集積によるということを実感します。

参考:「福むら焼ゆー海嘯と闘った男」浜口梧陵の軌跡(和歌山県広川町)一九九八「善勇善公の章でたどる濱口梧陵の生涯」(広川町教育委員会)二〇〇七「取材協力」福むらの火の館(崎山一穂館長)



つきお よしお

月刊新聞『モルゲン』を定期購読しませんか？

モルゲンは先生と生徒が共有する、読書を柱とした、人間の生き方を考える新聞です。生徒会担当教諭、図書館担当教諭を通して生徒に配布しています。読書や社会情報を通し、子どもたちの視野を広げ、みずから社会の一員である自覚と、ものごとを客観的に見、聞き、考える目と心を育てることを目的としています。

- 媒体種別：月刊紙(毎月1回発行 ※7・8月は合併号)タブロイド判 12~20ページ
- 読者対象：中・高・大・専門学校生、小・中・高校教諭

全国の中学・高校、図書館・青少年センターなどの諸施設 大学・短大・専門学校・サポート校、個人購読者など、教育現場や公共施設などで活用されています

購読費(年間購読) *年度途中の申込可、送料込*

300円×11回×1.08(税) 年間11回発行7・8月は合併号

3,564円(税込) *一部売りは540円(税込)

★購読費を県費でお支払いいただいている学校さんもあります。県への依頼送付書などはこちらでご用意できますので、ぜひご相談下さい。